

東京都手話サークル連絡協議会

2017 年度 定期総会

議 案 書



2017 年 4 月 30 日（日） 13：00～15：00

於：新宿区立障害者福祉センター

2017年度 定期総会 次第

司会：事務局員

1. 代表あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. 議長選出
4. 総会成立の確認（2016年度 加盟数 26 / 定足数 14）
5. 2016年度 活動報告
 - 1) 総括
 - 2) 事務局報告
 - 3) 広報班 活動報告
 - 4) 一日研修会報告
 - ① ブロック企画
 - ② 事務局企画
 - 5) 各委員会報告
 - ① 福祉対策会議
 - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会
 - ③ たましろの郷後援会役員会
 - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会
 - 6) 協力行事報告（①②③実行委員会・④当日要員）
 - ① 自立支援センターまつり
 - ② 耳の日記念文化祭
 - ③ 東京都のろう教育を考える会
 - ④ たましろフェスタ 2016 in 町田
 - 7) その他報告
 - ① 九州手話サークル連絡協議会講演の報告
 - 8) 質疑応答
6. 2016年度 活動報告 一括承認
7. 2016年度 会計報告
 - 1) 収支決算報告
 - 2) 会計監査報告
 - 3) 質疑応答
8. 2016年度 会計報告 承認
9. 2017年度 活動（案）
 - 1) 活動方針(案)・質疑応答
 - 2) 年間計画(案)・質疑応答
 - 3) 予算(案)・質疑応答
10. 2017年度 各案 個別採決
11. 役員改選
12. 今年度会計監査担当ブロック確認（多摩南ブロック）
13. 議長退任
14. 閉会

（※総会終了後 第1回担当者会議に移行 15:10～16:50）

～ 全員で原状復帰 17:00 退室（時間厳守） ～

2017 年度 総会資料 目次

1. 2016 年度 活動報告	
1) 総括	2 頁
2) 事務局報告	3～5 頁
3) 広報班 活動報告	6 頁
4) 一日研修会報告	
① ブロック企画	7 頁
② 事務局企画	8～9 頁
5) 各委員会報告	
① 東京都聴覚障害者福祉対策会議	10～11 頁
② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会	12 頁
③ たましろの郷後援会役員会	13 頁
④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会	14 頁
6) 協力行事報告 (①②③実行委員会・④当日要員)	
① 自立支援センターまつり	15 頁
② 耳の日記念文化祭	16～17 頁
③ 東京都のろう教育を考える会	18 頁
④ たましろフェスタ 2016 in 町田	19 頁
7) その他報告	
① 九州手話サークル連絡協議会講演の報告	20 頁
8) 2016 年度 収支決算報告	21 頁
2. 2017 年度 活動 (案)	
1) 活動方針(案)	22 頁
2) 年間計画(案)	23～24 頁
3) 予算(案)	25 頁
4) 会則	26～27 頁
3. 役員改選	28 頁

1. 2016年度 活動報告

1) 総括

東京都手話サークル連絡協議会
代表 高田 直樹

平成28年度の東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)は、26サークルでスタートしました。今年度も加盟サークルからの協力もあり、センターまつり、耳の日記念文化祭、ブロック企画・事務局企画一日研修会など無事に終わることができました。心より感謝申し上げます。

加盟サークル数の減少に危機感がありながら、今年度の加盟サークル訪問は一つで、未加盟サークル訪問の実現はできませんでした。来年度はなんとか幅広く訪問したいと思っています。

2016年1月に九州手話サークル連絡協議会(九手連)から、都サ連に対して九手連研修会(6月宮崎)での講演の依頼がありました。宮崎行きを決断し、いろいろな準備をしているさなか、熊本県益城町で大地震が発生し、九手連講演の開催が心配されましたが、6月の九手連研修会は開催であるとのお返事で、再度準備を始めました。午前『都サ連の組織について』、午後『東日本大震災後の視察とその後』について、講演をしてきました。

東日本大震災から6年、都サ連は「忘れない東北を！」を実現するための企画を進めています。今年度はいろいろなご縁から、1月の事務局企画一日研修会では、福島県手話サークル連絡協議会副会長大和田氏と熊本県手話サークル「わかぎ」事務局長森氏をお迎えしてお話を伺うことができました。全国の手話サークル連絡協議会や手話サークルの取り組みはとても参考になりました。復興にはまだまだ時間を要します。さまざまな形の支援が、もっともっと必要なのだと強く思いました。

2020年の東京オリンピックを見据え、11月13日に「TOKYO みみカレッジ ～大学生と一緒に考える。手話で楽しむ。かたち色々コミュニケーション。言葉はひとつじゃない～」が開催されました。そのPRのために文化祭等を利用して、大学の手話サークルを訪問し、説明や情報交換をすることができました。学生サークルとのつながりで、ブロック企画と事務局企画の両方の一日研修会にも来て頂くことができました。1月の一日研修会では、学生の方からインターネット利用に関しての貴重な意見を頂くことができました。お互いの棲み分けの中で、交流を続けることができればいいと思っています。

都サ連としましては、私たちの進むべき方向性を再確認し、都内で活動する手話サークルが結束することで、活動の門扉を広げることができると考えています。確かに一人ひとりの力は微々たるものかもしれませんが、その力を合わせれば必ず大きな運動に繋がり、花を咲かすことが出来ると信じています。これからは自分の地域の問題を考えるだけでなく、全国の手話サークルとも力を合わせ運動の輪を広げていきたいと思っています。

これからも東京都聴覚障害者連盟との強力な協力関係を構築するために、加盟サークルの力を貸して頂きたいと思っています。是非ともよろしく申し上げます。

2) 事務局報告

事務局長 河野悠子

1. 2016年度 加盟サークル … 26サークル

ブロック	サークル名	地域	ブロック	サークル名	地域
城南 (7)	大田区手話サークル	大田区	多摩北 (3)	手話サークルむさしの(昼)	武蔵野市
	港区手話サークル 麦の会	港区		手話サークルむさしの(夜)	〃
	手話サークル「て」	〃		立川手話こぶしの会	立川市
	品川手話サークル	品川区			
	めぐろ手話の会	目黒区			
	手話サークル たんぽぽ	世田谷区			
	渋谷手話の会	渋谷区			
城北 (10)	手話サークル江東	江東区	多摩南 (6)	八王子手話サークル 桑の実会	八王子市
	手話サークル葛飾	葛飾区		八王子手話サークル 「山吹会」	八王子市
	北区手話サークル	北区		府中市手話サークル かんたん	府中市
	板橋手話サークル	板橋区		手話サークル「てとて」	府中市
	手話サークル 練馬こぶし会	練馬区		手話サークル まちだ	町田市
	だるま会	中野区		多摩市手話サークル 「クローバー」	多摩市
	手話サークル 杉の会	杉並区			
	文京手話会	文京区			
	新宿区手話サークル	新宿区			
	手話サークル「すみだ」	墨田区			

2. 2016年度役員

代表	高田 直樹 (たかだ なおき)	手話サークル まちだ
事務局長	河野 悠子 (かわの ゆうこ)	板橋手話サークル
会計	剣持 敦子 (けんもち あつこ)	だるま会

3. 会議等開催実績

(1) 担当者会議

回	月	日	曜	内容	開催会場	参加数
1	4	29	祝	定期総会	渋谷区 リフレッシュ氷川	出席 23・委任 2
2	6	26	日	例会	立川市 高松学習館	21サークル
3	8	28	日	例会	品川区 心身障害者福祉会館	20サークル
4	10	23	日	例会	府中市 住吉文化センター	21サークル
5	12	11	日	例会	板橋区 向原ホール	16サークル
6	2	26	日	例会	立川市 こぶし会館	15サークル

※ 会議等の詳細は「各回の担当者会議 記録」をご参照ください。

(2) 事務局会議

回	月	日	曜	開催会場	出席数	備考
1	4	7	木	世田谷区 下北沢らぷらす	9	
2	4	17	日	障害者総合スポーツセンター	6	議案書印刷・発送
3	5	11	水	世田谷区 下北沢らぷらす	7	
4	6	8	水	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
5	7	13	水	世田谷区 下北沢らぷらす	8	
6	8	10	水	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
7	9	14	水	渋谷区 自立支援センター	7	
8	10	12	水	渋谷区 自立支援センター	8	
9	11	9	水	渋谷区 自立支援センター	8	
10	12	7	水	渋谷区 自立支援センター	5	
11	1	11	水	渋谷区 自立支援センター	8	
12	2	8	水	渋谷区 自立支援センター	6	
13	3	8	水	渋谷区 自立支援センター	8	

※ 会議の詳細は「各回の事務局会議 記録」をご参照ください。

(3) 一日研修会

回	月	日	曜	担当	開催会場	来場者数
1	9	18	日	城北ブロック	北区 赤羽会館	500名(内 招待13)
2	2	5	日	事務局	日大 国際会議場	112名(内 招待 3)

4. 2016年度の主な活動

(1) 担当者会議の開催（年6回：開催日は3-(1)参照）

<今年度の主な課題>

- ① 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。
- ② 加盟サークル同士を知る。
- ③ 都サ連だから出来ることを考える。

<課題に対する活動>

- ①各区市協会が集まる会議等で時間をもらい、地元サークルに対して都サ連への加盟を勧めてもらうようお願いした。
一日研修会・フェスタパン屋・耳の日記念文化祭等に都サ連腕章を付けて活動した。
新規の都サ連担当者に対して資料を配付し、担当者会議等の概要を説明した。
- ②加盟サークルの活動日一覧表の配付。
サークルからの疑問・質問に対する情報交換。
模擬例会の紹介（担当者会議の準備担当ブロックをお願いした。）
年に1回、担当者会議の全体会で交流会を実施した。
各ブロック単位のメーリングリストを作成した。
- ③熊本地震被災 聴覚障害者団体への募金活動（441,138円）
熊本地震被災 手話サークル連絡協議会へのお見舞金(10万円)送付。
金町学園閉園に伴う署名運動への協力・金町学園についての勉強会の開催。
投票所におけるコミュニケーションボード設置状況の調査。

(2) 事務局会議の開催（開催日は3-(2)参照）

<今年度の主な課題>

①事務局会議の位置づけ、出席者及びその関わり方を再確認する。

<課題に対する対処>

①事務局会議の位置づけが、会則の改正によって明文化された。(第6条・15条)

②事務局会議への出席者の拡大

代表・事務局長・会計に加え、事務局員の参加により出席者を増員した。

②事務局会議のシステム化

事前準備（開催通知・出欠確認・議題の作成・各委員会報告の掲載など）

事後処理（記録案の作成・チェック・正式記録の作成・加盟サークル配信）

事務局MLによるメンバー間の情報共有

(3) 一日研修会の開催（年2回：詳細は一日研修会報告を参照）

①第1回（9/18）… 城北ブロック企画

午前「人の心が聴こえる街に」

講師：斉藤 りえ氏

午後「アトムから見た手話の世界」

講師：砂田アトム氏

②第2回（2/9）… 事務局企画

午前「熊本・福島・東京各手話サークル連絡協議会の組織と活動」…講演

午後「災害時の手話サークル連絡協議会の役割 他」…お話とディスカッション

講師：森 保夫氏（熊本）・大和田 仁氏（福島）・高田 直樹（都サ連）

(4) 会報「都サ連通信」発行（年6回）

<主な掲載記事>

各委員会報告・広報班活動報告・一日研修会報告・行事協力報告・行事参加報告 等

<課題>

会報の掲載記事等、内容についての問題提起は特になかったが、メール便の廃止による郵送費の負担増、会報の編集協力者の増員などが来年度に向けての課題。

(5) 以下の会議に構成団体として参加（詳細は各委員会報告参照）

① 東京都聴覚障害者福祉対策会議

② 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

③ 自立支援センター運営委員会

④ たましろの郷後援会役員会

⑤ 東京都のろう教育を考える会

(6) 以下の行事に実行委員または要員として参加協力（詳細は各協力行事報告参照）

① 第18回 自立支援センターまつり（7/18）

都サ連要員数 35名

② たましろフェスタ2016 in 町田（10/9）惣菜パンの販売

6名

③ 第46回 耳の日記念文化祭（3/2・3/3・3/4）

3日間延べ 90名

(7) 単年度会計へ向けての努力（継続）

① 事務局長宅のFAXを年経費2,000円にて借用。

② 一日研修会の内容を充実させ、幅広く参加を呼び掛け、黒字を目指す。

③ 加盟サークル数が30サークルを超えるよう協力して働きかける。

3) 広報班 活動報告

広報班 大木知也 (八王子手話サークル山吹会)

大学生サークルとの関係は、これまでより一歩踏み出し、署名活動(金町学園)や行事(耳の日記念文化祭)の要員など、より多くの協力が必要な機会での声かけを試みました。

交流会や例会に訪問したのは8団体。うち4団体は金町学園での署名のための例会訪問で、計54名から署名をいただきました。耳の日記念文化祭では、3団体各2名ずつ要員の協力があり、うち1団体は連絡が途絶えていたにも関わらず間接的に情報を得ての協力でした。

協力をお願いするのが負担になって距離を置かれてしまうのではとの心配もありましたが、実際に顔を合わせてみると、かえってお互いの信頼関係や、活動への自信につながるような表情もありました。慎重に交流すれば協力関係の構築が継続できる見通しがありました。

また恒例の一日研修会招待も2回分で延べ5団体16名からの参加があり、都サ連通信掲載の感想の通りの好評をいただきました。大学文化祭等発表の案内も11団体からいただき、連絡を取り続けることが、お互いの利点につながっているとと言えます。

未加盟サークルへの個別の働きかけは今年度も行えていませんが、都サ連として東北や九州の連絡協議会と連絡を取り始め、あらためて横の繋がりの大切さが明るみに出てきた中で、今後とるべき視点も少しずつ見えてきています。

加盟サークルでは、『個々のサークルで行き詰まることに関して、積極的に都サ連を活用し、サークルでの必需性を高めていく』、未加盟サークルへは、『都レベルでの連携をより重視してもらおう』などの視点を念頭に置きながら、広報活動を続けていきたいと思えます。

またそれらを受けて、例えば会議の目的や会費などの環境を整備していくことが、今後の未加盟サークルへの呼びかけへの下地として不可欠と思われれます。

2017年3月末時点で連絡の取れている学生サークル一覧(順不同)

法政手話サークルわたがし、東京大学手話サークルしゅわっち、
早稲田大学手話さあくる、駒澤大学手話サークルかえで、
北里大学手話部(白金)、北里大学手話部(相模原)、
日本大学文理学部手話研究会 PEACE、上智大学手話サークルてのひら、
帝京大学手話サークル com&com、帝京大学手話サークル poco a poco、
東京理科大学手話サークル SSL、東京理科大学手話サークルサインデイズ、
慶應義塾大学手話サークル MiMi、國學院大学ボランティアサークル Sign、
学習院大学手話サークルのぞみ、東京成徳大学手話サークル、
大正大学手話サークル pockey、立教大学手話サークルテブクロ、
青山学院大学手話部、白百合女子大学 Chouchoute (シュシュット)

以上20団体

4) 一日研修会報告

①ブロック企画（城北ブロック）

城北ブロック一日研修会実行委員

【実施報告】

実施日：2016年9月18日（日）10:00～16:30

会場：北区赤羽会館

内容：午前の部（10:30～12:30）

講演①「人の心が聴こえる街に」 講師 齊藤りえ氏
午後の部（14:00～16:00）

講演②「アトムから見た手話の世界」 講師 砂田アトム氏

来場者：500名（加盟サークル472名／一般15名／招待13名）

【収支報告】

収入 … 494,500円（内訳：参加費1,000×472+1,500×15=494,500）

支出 … 94,244円（内訳：謝礼等53,000、要員手当34,000、諸経費7,244）

残金 … 400,256円（残金は本部会計へ）

会場や講師について、担当者会議やメーリングリストで約1年前から話し合いを始め、以前担当したことのある方の助言や、事務局で作成中の準備手順例等を参考に進めました。会場が取れ、講師も確定したのが5月。そこからは慌ただしく進んでいきました。今回、手話通訳とPC通訳は、聴覚障害者意思疎通支援者派遣を利用。会場の収容人数が646人と大きな会場だった為、チケット販売は従来の参加人数を事務局に報告する方法ではなく、チケットのデータを各サークルに送り、印刷・販売をサークル毎にお願い、売れた枚数を定期的に報告してもらった形にしました。

講演内容としてはアンケートの結果からもとても好評でした。講演①では講師の前向きな姿勢を応援したい。講演②では期待通りで面白かった、通訳なしの講演で良かった。また、午前と午後で講演の内容が全く違うので楽しかったとの感想をいただきました。

ただ、講演①で事前に講師からは自身の声で話し、パワーポイント使用とあったが当日通訳者との打ち合わせで講師の声での通訳は難しいと言われたので、パワポの内容が分かるよう舞台下にモニターを設置する等の配慮も必要でした。また、会場が広い分いつもの方法では難しい面もあり、開場前に参加者がロビーに溢れて混雑してしまったり、情報保障の面では、後ろの方は通訳の手話や講師の表情が見えなかったりと予想外もあり、整列のためテープを張る、手話通訳をモニター化する等の配慮も必要だったかと思いました。

実行委員としては初めて携わる方が多く、準備手順例等を参考に役割分担と会場の下見を兼ねて1度集まれたのが良かったと思います。無事終える事ができたのは、ご尽力いただきました事務局、各サークル会員の皆様のおかげです。ありがとうございました。

② 事務局企画

事務局

【実施報告】

実施日：2017年2月5日（日）10:00～15:30

会場：日本大学 文理学部 百周年記念館 2階 国際会議場

内容：午前の部（10:00～12:10）

「熊本・福島・東京 各手話サークル連絡協議会の組織と活動」…講演

午後の部（13:15～15:30）

「災害時の手話サークル連絡協議会の役割 他」…お話&ディスカッション

講師：講師：森 保夫氏（熊本）・大和田 仁氏（福島）・高田 直樹（都サ連）

来場者：112名（16加盟サークル/109名・招待3名）

【収支報告】

収入 … 109,000円（内訳：参加費1,000×109名）

支出 … 164,557円（内訳：謝礼60,000、要員手当11,000、諸経費7,508、交流会5,578）

残金 … ▲55,557円（本部会計から補填）

【準備】

借用会場：百年記念 国際会議場（メイン会場）

会議室（講師控室・要員クローク）

借用機材：マイク3（ワイヤレス2・コード付1）・引出式スクリーン1

PC通訳用プロジェクター1・HUB・LANケーブル・案内板3・各種コード

国際会議場（備付け：スクリーン1・PC1・モニター2）

案内板設置箇所：右折表示・入口正面・昇り階段付近

大学との事前打合せ：1月25日（水）

【担当】

集合：8時30分 記念館エントランスホール

会場設営（案内板設置、控室整備、受付機の運搬など）：事務局全員

受付：林紀子・森野郁子・大木知也（学生対応）

会計：剣持敦子

講師接待：杉石めぐみ（※講師到着9時30分）

全体調整：河野悠子

機材の設置及び調整：高田直樹・天野京子

ビデオ撮影：堀 浩司

書籍販売：大塚青生

司会：天野京子

情報保障：PC通訳（午前4名・午後4名） 手話通訳（午前2名・午後2名）

※意思疎通者派遣を申し込み承認された。（都サ連として謝礼の負担なし）

【アンケート】

参加者：112名 アンケート回収70枚（回収率約62.5%）

◇参加回数：初めて12名 2回目13名 3回目12名 4回以上33名

◇回答者：聴者64名 ろう者3名 難聴者2名 無記入1名

◇内容について

午前の部 … 良かった・大変良かった53名 普通15名 良くなかった1名 無回答1名

- ・他の地域の状況が分かって良かった。
- ・「サ連」は、単に「サークルの集まり」ではなく、全国組織としての役割があることがわかった。
- ・大和田さんのお話は面白くて分かりやすかった。
- ・午前のテーマは資料配付のみで済む。時間の無駄。

午後の部 … 良かった・大変良かった59名 普通6名 無回答5名

- ・災害時のサークルの役割（安否確認方法など）を、日頃から考えておく必要があると思った。
- ・今後、何をすべきか（事前準備・災害時・復興時）を考える上で、とても参考になった。
- ・東京にも必ず起きると言われている大事な問題なのに参加者が少なく残念だった。
- ・ディスカッションがとてもためになり良かった。もっと時間をとってほしかった。
- ・学生さんの参加があるのはいいこと。若い人の意見が聞けて良かった。

◇その他の意見

- ・パワポの数字が小さく見づらかった。スクリーンは大きく見易かった。
- ・舞台が暗かった。後で改善された。
- ・トイレタイムを考慮してほしかった。
- ・今回の会場は広くて良かった。
- ・空調については、「良かった」と「寒かった」両意見あり。
- ・ランチタイムが短かった。
- ・書籍の販売がある時は事前にインフォ（表題・価格など）してほしい。

◇スタッフの反省

- ・昨年のアンケートで、休憩時間が長すぎると言う不満があったので1時間にしたが、今度は短いという意見が多かった。
- ・講師によってマイクを通した声の音量が違い、手話通訳者・PC通訳者が戸惑った。
- ・通訳者の立ち位置よりスピーカーが前にあり、音が前方に出るので聞きづらいという指摘があった。事前に音を流し、確認する必要がある。
- ・参加者はやや少なめだったが、参加した人からは評判がよかった。是非このテーマを継続してほしいという声も頂いた。

5) 各委員会報告

①東京都聴覚障害者福祉対策会議

委員：高田直樹（代表 手話サークルまちだ）
林 紀子（手話サークル杉の会）

福祉対策会議は、原則毎月第一月曜日に開催され、全国の動向を捉えつつ、東京における聴覚障害者の福祉向上を目指し議論を行っています。東京都手話サークル連絡協議会（以下、都サ連）は構成団体のひとつとして参加しています。また、全国要約筆記問題研究会東京支部、東京都要約筆記サークル連絡会と共に、交代で会議記録作成も担当しています。

さて昨年3月、手話言語法制定を国に求める意見書が、全国の地方議会1,788で採択され100%達成となって以降は、手話言語法制定への気運がおおいに高まっています。

4月、『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』が施行されました。

6月には「全国手話言語市区長会」が発足し、2020年のオリンピック・パラリンピックを見据え、情報保障の環境整備や施策展開の情報交換を目的としており、会員数275市区長、準会員6町村長（3月21日現在）となっています。

7月には「手話を広める知事の会設立総会・手話言語フォーラム」が開かれ、全国の行政関係者やろうあ連盟会員、手話関係者等376名が参集しました。小池東京都知事も、今後の加盟を表明しています。このことにより、「全国手話言語市区長会」への加入（3月21日現在東京都内11区市が加入）にも弾みがつくものと期待されます。

また、手話言語条例は各地で相次ぎ成立しており、13県/75市/9町の97自治体（3月27日現在）となりました。

まさに、変革のおおきなおおきなうねりが押し寄せています。

ろう者が、手話を学び手話で情報を獲得できる、自由に手話でコミュニケーションをとれる社会を実現するためには、そして、国民一人ひとりが手話を言語として理解し、豊かな言語・コミュニケーション環境を整備するためには、「手話言語法」が必要なのです。

福祉対策会議は、手話言語法（仮称）、情報・コミュニケーション法（仮称）の制定実現に向けた運動を通じて、誰もが安心して暮らせるインクルーシブな社会を目指して活動を続けています。
(文責：高田・林)

【話し合いの主な内容】

- ① 手話言語法制定推進運動と手話言語条例制定への取り組みについて。
- ② 障害者差別解消法等の状況について。
- ③ 意思疎通支援事業への取り組みについて。
- ④ オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みについて。
- ⑤ 東京都への要望と東京都福祉局との福祉懇談会について。
- ⑥ 参政権保障委員会の取り組み（コミュニケーションボードの普及、投票所のバリアフリー、被選挙権、衆参議院議員選挙など）について。
- ⑦ 情報提供施設への取り組みについて。
- ⑧ 聴覚障害児施設建設について。
- ⑨ 「We love コミュニケーション」「手話でGo!」パンフの取り組みについて。

《2016年度 主な会議日程》

- 4月4日 第106回 福祉対策会議
- 6月6日 第107回 福祉対策会議
- 7月4日 第108回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 7月28日 第40回 聴覚障害者施策推進地域担当者会議（地域担当者会議）
- 9月5日 第109回 福祉対策会議
- 10月3日 第110回 福祉対策会議
- 11月7日 第111回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 12月5日 第112回 福祉対策会議
- 12月25日 第41回 地域担当者会議 & 『段また段を成して』上映会&ミニ講演会
- 2月6日 第113回 福祉対策会議
- 3月6日 第114回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 3月30日 第42回 地域担当者会議

《記録担当者》

- 7月4日 河野悠子（都サ連事務局）
- 11月7日 河野悠子（都サ連事務局）
- 3月6日 河野悠子（都サ連事務局）

【構成8団体】

- 公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
- 認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
- 認定NPO法人 東京盲ろう者友の会
- 東京都手話通訳問題研究会
- 東京都登録要約筆記者の会
- 全国要約筆記問題研究会 東京支部
- 東京都手話サークル連絡協議会
- 東京都要約筆記サークル連絡会

② 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会

運営委員 高田 直樹（代表 手話サークルまちだ）
杉石めぐみ（手話サークル練馬こぶし会）

自立支援センターは、聴覚障害者の問題、手話の普及啓発事業として上級手話講習会、素晴らしい手話の世界(手話講座)、特別講演等を企画・実施しています。また、就労支援・生活支援などの相談支援事業を行っています。

都サ連から高田と杉石が運営委員として、自立支援センターの運営に関わっています。

運営委員会は原則第二土曜日 10～12 時自立支援センター多目的室にて開かれます。

2016 年度 運営委員会の開催日は以下の 11 回でした。

4 月 9 日(土)、5 月 14 日(土)、6 月 4 日(土)、7 月 9 日(土)、8 月は夏休み

9 月 10 日(土)、10 月 8 日(土)、11 月 12 日(土)、12 月 10 日(土)、1 月 14 日(土)、
2 月 18 日(土)、3 月 11 日(土)

運営委員は総務部(財務含む)・自立支援事業部・手話啓発事業部・センター啓発事業部(高田・杉石)にわかれて担当します。

その他、7 月 18 日(海の日)の「第 18 回自立支援センターまつり」では、都サ連はスタンプラリー・福引を担当し、運営委員としては高田代表がまつりの副実行委員長と会計を、杉石が実行委員として納涼会を担当しました。

また、3 月 4 日(土)・3 月 5 日(日)の「耳の日記念文化祭」では、自立支援センターはバザーと模擬店(甘酒・お汁粉)を出店し、センター啓発事業部運営委員として運営を担いました。

自立支援センター事務局の相談支援事業等への割合が大きくなり、ほかの事業は運営委員一人ひとりが担当し運営する割合が大きくなっています。自立支援センターに誰もが集える場所をこれからも残していくように、センターまつり、講演会、講習会をこれからも魅力あるものにしていてもらいたいと思います。

【構成団体】

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟

認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会

東京都手話通訳問題研究会

東京都手話サークル連絡協議会

渋谷区聴覚障害者協会

③ たましろの郷後援会役員会

役員： 神保沙織（大田区手話サークル）
天野京子（品川手話サークル）

今年度も都サ連からは2名が後援会役員として参加しました。

後援会では毎月の会議の他、皆様に「たましろの郷」「ろう重複者」のことを知っていただき、都内聴覚障害者の福祉事業充実に取り組む「社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会」を全面的に支える活動資金の一環にご協力いただけるよう、今年度も以下のような活動や行事を企画・運営いたしました。

- ・たましろの郷活動報告集会
- ・たましろの郷見学・交流バスツアー
- ・たましろフェスタ 2016 in 町田
- ・耳の日記念文化祭ナイトバー
- ・たましろの郷ニュースの作成・配信
- ・後援会活動や施設を知っていただくための講座
- ・球根・カレンダー等販売
- ・牛乳パック募金箱

耳の日記念文化祭では都サ連を通じてたくさんの皆さんに要員をしていただき、また、たましろフェスタでは恒例となった「都サ連のパン屋さん」で売り上げをたましろの郷に寄付をしました。さらに、たましろの郷を知っていただく「出前講座」にもたくさんのサークルから依頼をいただきました。

後援会の会計は厳しい状態が続いていますが、これからも新たな企画やグッズ販売などを進めていく予定です。皆様のあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【構成団体】

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会
東京都手話通訳問題研究会
東京ろう重複者とあゆむ会
東京都手話通訳者協会
東京都手話サークル連絡協議会
東京手話通訳等派遣センター分会
たましろの郷世田谷委員会(世田谷)
たましろの郷板橋後援委員会(板橋)
八王子たましろの郷後援会(八王子)
葛飾たましろの郷後援会(葛飾)
たましろの郷練馬後援委員会(練馬)
ひのたましろの郷後援会(日野)

④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

委員 三村和成（めぐろ手話の会）
高田直樹（代表 手話サークルまちだ）

本委員会は毎月第3月曜日に定例会議を開催し、委員会の方向性や情報保障のあり方について話し合った。

主な活動は、選挙に関連して、行政や各種団体、政党、議員への働きかけを行なった。また、例年と同じく都選挙管理委員会、および東京青年会議所との意見交換会も行なった。

本年度は、7月10日に参議院選挙が行われた。また、7月31日には、都知事選が行なわれた。両選挙に合わせて、参政権保障委員会では、政見放送ビデオ上映会を開催した。政見放送では、字幕および手話通訳が付くことが多くなってきたが、まだまだ十分な情報保障とは言い難い。引き続き、政党や候補者に対して情報保障の重要性を訴えていく。

両選挙では、コミュニケーションボードが、ある程度活用されているようであったが、まだ、活用されていない地域もあり、今後も引き続き啓蒙活動を行なっていく。

来年度（2017年4月）には、参政権に関する学習会を開くことを企画している。

日本の選挙ではないが、アメリカのトランプ大統領の当選は、選挙のあり方を大きく変えたと言われている。インターネットの普及およびスマートフォンの普及により、人々のコミュニケーションは、大きく変わった。候補者の選挙活動・有権者への働きかけも大きく変わった。選挙に関する情報は、格段に得やすくなったが、まだまだ、聴覚障害者にとって、公平な選挙が行なわれているとは言い難い。少しでも情報格差が縮まるように、今後も幅広い活動を続けていきたい。

【2016年度 委員会の主な日程】

4月18日	参政権委員会
5月16日	参政権委員会
6月20日	参政権委員会
8月22日	参政権委員会
10月17日	参政権委員会
11月19日	参政権委員会（東京青年会議所との懇談会）
11月21日	参政権委員会
1月16日	参政権委員会（東京都選挙管理委員会との懇談会）
2月20日	参政権委員会
3月20日	参政権委員会

【構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
東京都手話サークル連絡協議会
東京都手話通訳問題研究会
全国要約筆記問題研究会・東京支部

6) 協力行事報告

① 自立支援センターまつり

実行委員 河野悠子（事務局長 板橋手話サークル）
森野郁子（北区手話サークル）

【実施報告】

行事名：第18回 自立支援センターまつり

実施日：2016年7月18日（月・祝）

会場：東京聴覚障害者自立支援センター・リフレッシュ氷川

【実行委員会日程】

①4月27日 ②5月14日 ③5月27日 ④6月27日（拡大） ⑤7月29日（反省会）
計6回

【要員募集日程】

①7月17日（福引準備・会場準備）

②7月18日（当日）

※まつり実行委員会（事務局）で全ての要員配置を決めるため、都サ連担当企画の要員申込も都サ連を経由せず、直接まつり事務局で行なった。

都サ連からの要員 希望数 午前12名・午後12名

実際にまつり事務局が調整した人数 午前22名・午後8名

【主な担当内容】

福引き・スタンプラリー（景品準備・コーナー設営・当日運営 含む）

【反省・次年度への引継ぎ】

（要員から）

- ・自立3階 … イスもテーブルもなく、準備が大変だった。
- ・リフレッシュ2階 … パネルディスカッションの立ち見の方が、スタンプラリーの場所まで広がってしまった。急遽2階に移動になったと聞いた。
- ・リフレッシュ地下 … 1時間座っていると寒かった。
- ・タイムテーブルと要員シフト表の準備があり良かった。
- ・配布したうちわが好評だった。

（実行委員から）

- ・年々福引きの来場者が少なくなっている。
- ・福引きの景品も提供者が減っているので、パンフの数に合わせた個数を準備するのが困難になってきている。
- ・まつり事務局で人数調整をして割り振って頂けると思ったが、午前は多過ぎ、午後は実行委員のみで、当日、現場で調整するという状態では、事前に希望人数を申請する意味がないのではないかと。都サ連で集約・調整する方法も検討してほしい。

②耳の日記念文化祭

『手話言語条例で輝かせよう東京、我らの街を!!』

実行委員 河野 悠子（事務局長 板橋手話サークル）
杉本美穂子（手話サークル杉の会）

第46回耳の日記念文化祭は、2017年3月4日（土）～3月5日（日）の2日間開催され、延べ3,188名の来場者がありました。都サ連からは前日準備も含め、3日間で11サークル、延べ90名の方に要員としてご協力頂きました。

今年は、港勤労福祉会館が改装のため使用できず、また、障害者福祉会館も外装工事のため、駐車場が資材置き場となっていて、模擬店は3団体のみの出店となりました。

会場が縮小されたにも関わらず、いつものように3,000名を超える来場者で、会館から事故のないようにという過剰なまでの注意を受け、実行委員会もそれなりに急遽対応を考えたのですが、やはり混乱は免れなかったようで、会館職員との行き違いなどもあり、皆さまにご不便やご迷惑をおかけする結果になってしまいました。

要員については、昨年各サークルから出して頂いた反省を参考に都サ連で要員体制を見直し、東聴連実行委員に都サ連からの案を提示し認めて頂きました。耳の日は聴覚障害者主導のイベントですので、都サ連が余り手を出し過ぎてもと思っておりましたが、毎年、反省に各担当責任者との連絡系統の問題が上がるので、今回は各係の責任者は従来通り連盟の方にお願しましたが、要員の中に都サ連からリーダーを置き、メンバーの変更や急遽の欠席等に対応したり、シフト表を作成して頂き、要員の把握管理をお願いしました。

その結果、「何をすれば良いか分かりやすくなった」、「交代の人の顔が事前に分かって良かった」など、要員の連携やシフトについては、改善が見られました。ただ、各係で時間によって仕事がない、あるいは忙しくて人出が足りないという状況が起こりましたので、次回は各係の横の連携を取るように時間軸に係を横並びにした一覧表を作成し、実行委員の反省会に案として提出しました。係間で時間によって要員を融通するという方法です。

徐々にですが、皆さまが動き易いように改善をお願いしていますので、何か気が付いたことや、他に良い方法などありましたら、都サ連事務局にご連絡ください。今後とも、よろしく願いいたします。

【要員(延べ数)】 袋詰め 14名 4日 50名 5日 29名 計 90名 (当日欠席 3名)

【来場者数】 2日間 延べ 3,188名

【実行委員会】 ①2016年10月28日 ②2016年11月24日
③2016年12月15日 ④2016年12月26日
⑤2017年1月30日(企業説明会) ⑥2017年2月09日
⑦2017年2月16日 ⑧2017年2月23日
⑨2017年3月30日(実行委員反省会)

【拡大実行委員会】 ①2016年1月26日

【要員説明会】 2017年2月18日

【全体反省会】 2017年3月5日(耳の日文化祭終了後)

【実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
東京都手話通訳問題研究会
東京都手話サークル連絡協議会

【拡大実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
東京都手話通訳問題研究会
東京都手話サークル連絡協議会
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター
社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 後援会
指定障害者支援施設 たましらの郷
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
認定NPO法人 東京盲ろう者友の会
NPO法人 全国要約筆記問題研究会東京支部
東京都要約筆記サークル連絡会
東京ろう重複者とあゆむ会
社会福祉法人 東京聴覚障害者支援センター
社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター
特定非営利活動法人 みみより会

③ 東京都のろう教育を考える会

実行委員 高田 直樹（代表 手話サークルまちだ）

2014年8月「第26回ろう教育を考える全国討論集会」が、東京で開催されました。東京でも継続的にろう教育を考えて行かなければならないとのことで、東京都聴覚障害者連盟が主催で開催してきた「ろう教育を考える会」を引き継ぎ、2015年9月に「東京都のろう教育を考える会」が立ち上がりました。『東京都のろう教育を考えるフォーラム』は、東京都聴覚障害者連盟と東京都のろう教育を考える会の共催です。

主催団体：「東京都のろう教育を考える会」「東京都聴覚障害者連盟」

協力団体：「NPO法人ろう教育を考える全国協議会」「東京都手話サークル連絡協議会」
「東京都手話通訳問題研究会」「全国要約筆記問題研究会・東京支部」

『第20回 東京都のろう教育を考えるフォーラム』報告

2月19日（日）午後、天候にも恵まれ、渋谷区リフレッシュ氷川には、ろう教育に関心のある方々が、100名近く集まりました。司会の春日実行委員長開会の挨拶で始まり、講演は特別講演を含めて三本立てでした。それぞれのご講演がとても興味深く充実した内容のフォーラムになりました。

講演を聞いて、聴覚に障害のある子供たちが、アイデンティティを持って生きていくためには何が必要なのかを考えさせられました。

都サ連としても、ろう教育への今後の関わり方について、いろいろと話し合いを進めたいと思います。

それぞれの講演は下記の通りでした。

①「明晴学園で実施しているバイリンガル・バイカルチュラルろう教育について」

講師：学校法人明晴学園校長 榎 陽子氏。

②「新宿日本語学校で実施しているろう教育への取り組みなどについて」

講師：学校法人江副学園 新宿日本語学校校長 江副隆秀氏

③「金町学園の閉園について～経過と現状～」

講師：社会福祉法人東京愛育苑金町学園延長 濱崎久美子氏

④ たましろフェスタ 2016 in 町田

都サ連パン屋実施報告

担当：河野、劔持、林、森野、藤井、洲脇

【出店内容】

- ・仕入先：新橋ベーカリー ・仕入数量：7種類 490個（完売）
- ・要員：仕入運搬2名、販売5名

【収支報告】

収入：112,411円

支出：89,911円（仕入れ80,244円 運搬費・要員交通費等9,667円）

残金：22,500円 → たましろの郷へ寄付

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
●パン売上		●仕入	
・カレーパン @180×100個	18,000	・カレーパン @120×100個	12,000
・メロンパン @180×100個	18,000	・メロンパン @120×100個	12,000
・クリームパン @180×90個	16,200	・クリームパン @120×90個	10,800
・豆乳パン @300×50個	15,000	・豆乳パン @175×50個	8,750
・10穀パンズ @300×50個	15,000	・10穀パンズ @185×50個	9,250
・黒ゴママース @300×50個	15,000	・黒ゴママース @220×50個	11,000
・胚芽イギリスパン @300×50個	15,000	・胚芽イギリスパン @210×50個	10,500
●釣銭寄付	211	●消費税	5,944
		●運搬費・要員交通費等	9,667
		●たましろの郷への寄付	22,500
収入合計	112,411	支出合計	112,411

【反省】

- ・販売経験も3年目になるので、釣り銭・レジ袋など、適量に準備出来るようになった。
- ・販売員の連携（注文を聞く→トレイに取る→計算する→レジに進んでもらう）もスムーズだった。
- ・都サ連の販売場所は体育館内だったが、校庭で販売している団体の方達が体育館に来れず出張販売が喜ばれた。
- ・今回、材料の値上がりが仕入れに反映し、やや純利益が落ちたが、22,500円寄付することが出来た。

7) その他報告

① 九州手話サークル連絡協議会講演の報告

於：宮崎市 KIRISHIMA ツワブキ武道館研修室（平成 28 年 6 月 25 日～26 日）

東京都手話サークル連絡協議会 代表 高田直樹

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災からあつという間に 6 年が経ちましたが、遅々として進まない東北地区復興の現状を見るたびに心が痛くなります。震災直後、東京都手話サークル連絡協議会として、どのような支援ができるのかを悩みながら、都サ連会員の人脈を使ったり、インターネットで情報を収集したりしながら、東北地区の手話サークル連絡協議会との連絡方法について調べました。その中で、岩手県手話サークル連絡協議会と福島県手話サークル連絡協議会と連絡が取れ、両県の手話サークル連絡協議会の案内で、2011 年 9 月には岩手、11 月には福島の現地視察ができませんでした。

被災地の支援には、被災県ではない地域からの支援が必要ではないかとの強い思いを持っていました。一方、金町学園に関する活動の中で、北九州市のある手話通訳者と出会ったことで、九州手話サークル連絡協議会・中元教博（のりひろ）会長【大分県】をご紹介頂き、会長とのメールでの意見交換が始まりました。

そんなご縁で、2016 年 1 月に九州手話サークル連絡協議会（九手連）から東京都手話サークル連絡協議会高田宛に講演の依頼がありました。6 月 25 日（日）の講演の内容は、午前の部『東京都手話サークル連絡協議会組織について』、午後の部『東日本大震災後の視察とその後』です。

九手連事務局長【熊本県】と講演の詳細について連絡を取り合っているさなか、平成 28 年 4 月 14 日に熊本地震が発生し、九手連研修会の開催が危ぶまれましたが、予定通り実施とのことで 6 月 24 日九州宮崎に向かいました。

二人の事務局員から自主応援隊の申し出があり、百人力を得た思いでの出立でした。二日間にわたり、九手連会長、理事、評議員の方々との懇談や、講演前日に前全日本ろうあ連盟理事長安藤豊喜氏を表敬訪問できたこと、九手連の組織について学べたことは、とても有意義な二日間でした。

手話サークルが聞こえない人たちの拠点となり、ろう運動を支えることができる都サ連の組織作りのあり方なども今後の参考にしなければならないと強く思いました。

【その後】いろいろなご縁から、平成 28 年度事務局企画都サ連一日研修会は、熊本から森事務局長、福島から大和田副会長をお招きしました。112 名の参加を得て、全国の手話サークルの組織やサークル連絡協議会の役割等について学べたことは、都サ連の新たな 1 ページになったのではないかと確信しています。

【九手連メモ】

- ・九手連発足（昭和 47 年）
- ・九手連指針『九州は一つ』
- ・九手連は九州 7 県の連絡協議会（沖縄を除く）
- ・熊本県だけは、『熊本県手話サークル「わかぎ」』
- ・サークル会費 3,600 円（その内、県手連へ 700 円、九手連へ 300 円）
九手連会費 300 円×各県手連の総会員数

2016年度(2016.4.1～2017.3.31)収支決算報告

収入の部

(単位:円)

	予 算	決 算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	26サークル×5,000円
雑 収 入	0	401,964	預金利息8円・一日研修会(城北ブロック)400,256円
前年度立替金	6,905	6,905	郵送費(2015年度 欠席サークル分)
前年度からの繰越金	317,455	317,455	
合 計	454,360	856,324	

支出の部

	予 算	決 算	備 考
通 信 費	13,000	9,934	総会資料・関係団体資料郵送料等
F A X 代	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	10,000	0	
消 耗 品 費	10,000	5,227	コピー用紙・封筒代等
交 際 費	20,000	31,000	都聴覚障害者大会祝儀・関東ろう者大会祝儀・練馬聴障協&こぶし会記念大会祝儀・年賀広告(中難協・東聴連)
会 議 費	10,000	10,260	事務局会議会場費・総会会場費
交 通 費	150,000	112,081	事務局会議・委員会等交通費
事 業 費	10,000	71,627	特別講演・一日研修会補てん
雑 費	3,000	512	振込手数料
今年度立替金	0	7,425	欠席サークル資料郵送料立替金
予 備 費	226,360	100,000	熊本県手話サークル支援金仮払い(特別引当金より支出予定)
小 計	454,360	350,066	
繰 越 金	0	506,258	
合 計	454,360	856,324	

特別引当金	600,000	600,000	
合 計	600,000	600,000	

上記相違ない事をご報告いたします。

2017年 4月16日

会計

劔持 敦子



上記相違ない事を確認いたしました。

2017年 4月16日

2017年 4月16日

会計監査

松永 裕美

会計監査

横山 邦恵



2. 2017年度 活動（案）

1) 活動方針（案）

東京都手話サークル連絡協議会 代表 高田直樹

- (1) 東日本大震災と東京都手話サークル連絡協議会
震災から6年が過ぎ、被災地は少しずつ落ち着きを取り戻し始めていますが、復興への道のりはまだまだ遠い状態です。引き続き支援に取り組んでいかなければなりません。都サ連として、被災地へどのような支援が可能かを考え、実行していきたいと思えます。九州手話サークル連絡協議会との東日本大震災支援についての協議も進めます。
- (2) 地域活動と東京都手話サークル連絡協議会
手話サークルの活動は、地域聴覚障害者協会の活動と車の両輪の働きです。都サ連も東京都聴覚障害者連盟と共に運動協力を進めます。都サ連の組織化のためにも加盟サークルの増加に努力します。東京都聴覚障害者連盟を通して、「加盟のお願い」文書等の配布
- (3) 広報班の活動の充実
 - ①運動を幅広く進めるために、加盟サークルに限らず未加盟サークルや大学サークルへも訪問し、都サ連加盟サークルの結束と拡充をめざします。
 - ②都サ連パンフレットや腕章を活用し広報活動に活かしていきます。
 - ③ホームページやFacebookを有効に活用し、情報発信や都サ連の活動を紹介します。
- (4) 都サ連としての活動
昨年度と同様に、関係団体と協力しながら、各種運動・活動を続けていきます。都サ連として、以下の活動に積極的に参加します。（ ）内は2017年度委員（予定）
 - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議（高田直樹、林紀子）
 - ② たましろの郷後援会役員会（神保沙織）
 - ③ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会（三村和成、高田直樹）
 - ④ 自立支援センター運営委員会（高田直樹、天野京子）
 - ⑤ 東京都のろう教育を考える会実行委員会（高田直樹）
 - ⑥ また、自立支援センターまつり、たましろフェスタ、耳の日記念文化祭などに積極的に参加協力します。
- (5) 加盟サークル間の交流と情報交換
2017年度も担当者会議の進め方や時間の使い方を工夫します。加盟サークル間の交流を重視し、情報交換及び交流の方法についても工夫していきます。
- (6) 事務局の体制
事務局の体制を見直し、運動が継続できる体制作りを目指します。事務局員・各委員の募集のしかたを工夫し、加盟サークルのメンバーが参加しやすい事務局を目指します。
- (7) 会計
本年度も単年度会計の健全化を目指します。

2) 年間計画 (案)

事務局長 河野悠子

1. 会議等開催日程 (案)

(1) 担当者会議

回	月	日	曜	内 容	開 催 会 場	担当ブロック
1	4	30	日	定期総会	新宿区立 障害者福祉センター	事務局
2	6	25	日	例 会		城南ブロック
3	8	27	日	例 会		多摩南ブロック
4	10	22	日	例 会		城北ブロック
5	12	17	日	例 会		多摩北ブロック
6	2	25	日	例 会		城南ブロック

(2) 事務局会議

回	月	日	曜	開 催 会 場	備 考
1	4	5	水	自立支援センター 2階	
2	4	18	火	板橋区立障がい者福祉センター	議案書印刷・製本
3	5	10	水	自立支援センター 2階	
4	6	7	水	自立支援センター 2階	
5	7	5	水	自立支援センター 2階	
6	8	2	水	自立支援センター 2階	
7	9	6	水	自立支援センター 2階	
8	10	4	水	自立支援センター 2階	
9	11	1	水	自立支援センター 2階	
10	12	6	水	自立支援センター 2階	
11	1	10	水	自立支援センター 2階	
12	2	7	水	自立支援センター 2階	
13	3	7	水	自立支援センター 2階	

(3) 一日研修会

回	月	日	曜	担 当	開催会場
1	9	17	日	多摩北ブロック	立川市 アイムホール
2				事務局	

2. 協力行事&日程（予定）

月	日	曜	行事名	組織等
7	17	月・祝	第19回 自立支援センターまつり	実行委員会
12	10	日	たましろフェスタ 2017 in 墨田	当日要員
3	3・4	土・日	第47回 耳の日記念文化祭	実行委員会

3. 来年度の主な活動(案)

(1) 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。

①都サ連のPR・加盟案内

- ・区市会長会議での地元手話サークル加盟のお願い…継続
- ・大学サークルとの関係作り…継続

②都サ連とは何か、加盟サークル間で共通認識をもつ

- ・新会則に則って、役員組織、事務局会議、担当者会議等の位置づけを整理。
- ・都サ連担当の役割や仕事について、年度初めに手引きを配付し説明…継続

(2) 加盟サークル同士を知る。

①親睦をはかる

- ・顔の見える会議形態 …継続
- ・都サ連主催の交流会（ハロウィーン・クリスマス会等）の企画 …継続

②情報交換

- ・加盟サークルの活動日一覧表の配付 …継続
- ・サークルからの疑問・質問に対する情報交換 …継続
- ・手話サークルに相応しい例会企画等についての情報交換 …継続
- ・都サ連通信、ホームページ、メールで各種行事・企画を発信・共有する …継続

(3) 話し合いで見つかった問題や実際に行った活動を整理する。

- ・出された意見の集約・整理を行い、次の検討課題につなげる。
- ・紹介してもらった模擬例会・模擬イベント等を、サークル運営の参考資料として応用できる形に都サ連でまとめ、必要なサークルに提供する。

(4) 東日本大震災を教訓として、都サ連で出来ることを考える。

① 経過（2010年度～2016年度）

- ・ろう者の見た被災地：「被災地取材して」今村氏・「被災地を訪れて」江副氏
- ・都サ連から高田代表と広報山崎氏が現地視察、会員に現状報告
- ・被災地三県から講師を招いて講演・東京の防災委員を加えての話し合い
- ・宮城被災地へのバスツアーを実施（現地視察、現地ろう協・サークルとの交流）
- ・福島被災地へのバスツアーを実施（現地視察、現地ろう協・サークルとの交流）
- ・熊本地震 被災聴覚障害者へ支援金を九サ連へ見舞金を各々送付。

② 2017年度

- ・検討中。

2017年度(2017.4.1～2018.3.31)収支予算(案)

収入の部

(単位:円)

	2015年度決算	2016年度決算	2017年度予算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	130,000	26サークル×5,000円
雑 収 入	138,357	401,964	0	
前年度立替金	4,346	6,905	7,425	2016年度郵送費立替分未収金7,425円
特別引当金より繰入	—	—	100,000	2016年度の熊本県手話サークル支援金仮払い10万円に充当する
繰 越 金	202,183	317,455	506,258	
合 計	474,886	856,324	743,683	

支出の部

	2015年度決算	2016年度決算	2017年度予算	備 考
通 信 費	11,746	9,934	13,000	総会資料26サークル×140円 都サ連通信9団体×6回×140円
F A X 代	2,000	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	180	0	10,000	都サ連パンフレット作成等
消 耗 品 費	2,567	5,227	10,000	封筒、コピー用紙、コピー代等
交 際 費	26,080	31,000	30,000	年賀広告(東聴連、中・難協)8,000円 大会参加費(東聴連、中・難協 他)
会 議 費	5,460	10,260	10,000	事務局会議 400円×12回 担当者会議 2,500円×2回
交 通 費	102,493	112,081	150,000	会議・委員会交通費、その他活動交通費
事 業 費	0	71,627	10,000	都サ連活動・行事等の補助(一日研修会等)
雑 費	0	512	3,000	振込手数料等
今年度立替金	6,905	7,425	0	欠席サークル資料郵送費立替
特別引当金	—	—	300,000	定額預金へ
予 備 費	0	100,000	205,683	
小 計	157,431	350,066	743,683	
繰 越 金	317,455	506,258	0	
合 計	474,886	856,324	743,683	

特別引当金	800,000	※引当金：将来の支出に備え準備してあるお金
-------	---------	-----------------------

注 特別引当金の動き(2016年度60万円⇒2017年度80万円)

- ①熊本県手話サークル支援金仮払い10万円充当として一般会計へ繰入れ
- ②30万円を特別引当金として定額預金へ

東京都手話サークル連絡協議会 会則

(名称)

第1条 本会は、東京都手話サークル連絡協議会と称する。

(住所)

第2条 本会の住所は事務局長宅とする。

(目的)

第3条 本会は、東京都内の手話サークルの恒常的交流と質的發展を図り、聴覚障害者団体及びそれを支援する団体との連携を強めていくことを目的とする。

(構成)

第4条 本会は、東京都内に拠点を置き活動する手話サークルによって構成される。

(活動)

第5条 本会の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 各手話サークルの抱える問題、課題を協議し、解決を目指す。
- (2) 研修会などの諸活動を行う。
- (3) その他、必要な活動を行う。

(機関)

第6条 本会の活動は次の機関で運営される。

- (1) 総会
- (2) 担当者会議
- (3) 事務局会議

(財政)

第7条 本会の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとし、事業年度ごとに事業計画と収支予算を作成するものとする。

2 本会の経費は、次の収入によってこれに充てる。

- (1) 各サークルの分担金
各サークルの分担金は年間5,000円とする。
- (2) その他

3 本会の口座管理は、事務局長が行う。

(ブロック編成)

第8条 本会に所属するサークルは、地域別にブロックを編成することができる。

(総会の構成)

第9条 総会は本会の最高決議機関とし、加盟サークルの過半数の出席を以て成立する。

2 第1回目の会議を総会とする。終了後、必要に応じて担当者会議に移行できる。

3 議決権は1サークルに1つとする。

(総会の議決)

第10条 議決は出席サークルの過半数をもって決定する。

(総会の委任)

第11条 やむを得ず総会に出席できないサークルは、議長に議決権を委任することができる。この場合、委任するサークルは、委任状を事務局へ提出しなければならない。

(総会の付議事項)

第12条 次の事項を総会の付議事項とする。

- (1) 活動報告
- (2) 会計報告
- (3) 活動方針
- (4) 年度予算
- (5) 役員を選任及び解任
- (6) その他運営に関する重要事項

(担当者会議)

第13条 担当者会議は、各サークルで選出された担当者と構成し、原則として年に6回開催する。

(役員)

第14条 総会において、本会の役員として代表1名、事務局長1名および会計1名を選出する。

- 2 役員任期は1年とする。
- 3 本会は、所属サークルの推薦を受けた者を事務局員として任命することができる。
- 4 代表は事務局員の中から、副代表1名を選び、指名することができる。

(事務局会議)

第15条 事務局会議は代表、事務局長、会計および事務局員で構成する。

(会則の改定)

第16条 この会則を改定するときは、総会において加盟サークルの3分の2以上の賛成を必要とする。

附則

この規約は、昭和52年(1977年)2月16日より施行する。

附則

この会則は、平成27年(2015年)4月29日から施行する。

(改定経過)

1. 1990年4月29日(日)開催の第1回代表者会議において
第7条 1. 各サークルの分担金
分担金年間3,000円を4,000円に改定。
2. 2003年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において
第7条 1. 各サークルの分担金
分担金年間4,000円を6,000円に改定。
3. 2008年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において
第6条 機関
「代表は事務局員の中から、副代表(1名)を選び、指名することができる。」
を追加。
4. 2009年4月26日(日)開催の第1回代表者会議において
第7条 1. 各サークルの分担金
分担金年間6,000円を5,000円に改定。
5. 2012年8月26日(日)開催の第3回代表者会議において
会計事務手続きに伴い、第2条の表記を変更し、第7条に口座管理者を追加。
6. 2015年4月29日(祝)開催の総会において
「規約」を「会則(条文等の構成を含む)」に改定。

3. 役員改選

東京都手話サークル連絡協議会 会則 第14条に則って、下記役員の改選を行う。

代 表 （1名）

事務局長（1名）

会 計 （1名）

副代表（1名）（必要に応じて代表が事務局員の中から指名）

事務局員（所属サークルの推薦を受け任命）

今年度の事務局会議は、第1水曜日・夜間の予定

～*～

その他、都サ連から選出する委員・実行委員・担当者 等

1. 各委員会

東京都聴覚障害者福祉対策会議 （第1月曜日・夜間）

自立支援センター運営委員会 （第2土曜日・午前）

たましろの郷後援会 役員会 （第2月曜日・夜間）

東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 （第3月曜日・夜間）

東京都のろう教育を考える会 実行委員会 （不定期開催）

2. 広報班（都内手話サークルとの関係作り・その他の広報活動）

3. 各種行事 協力

自立支援センターまつり

耳の日記念文化祭

たましろフェスタ

4. 会議記録作成（福祉対策会議・地域担当者会議など）